

-2017 年度 学校関係者評価報告

2017 年度の学校評価に基づき、学校関係者による評価を行いましたので、ご報告いたします。

1：委員会構成

教育会代表（会長・副会長）	2 名
卒業生代表	1 名
小学校顧問	1 名
本校関係者（校長・教頭・副教頭・担当）	4 名

2：委員会開催日時

平成 30 年 7 月 7 日（土）午前 11 時～12 時 30 分
8 名全員参加

3：評価・提言

学 校 運 営	私学の独自性 ・ 宗教教育 30 年度より、男女共学がスタートする。男児 11 名、女児 40 名（1：4）。しかし、134 年の伝統教育は変わりなく、カトリック学校としての使命を果たしていく。 ・ 教育間連携 指導する上で、教職員全員が同じ対応をする。対応にずれが生ずると、不信感を招く結果につながる可能性がある。 情報公開・広報活動 ・ ホームページ等を始め、広報活動が消極的である。口コミによる影響は大きいので、展示会や出品展において表彰されたニュースは積極的に知らせ、宣伝していく。
教 育	人権教育 ・ 児童支援対策 A+B のポイントが大幅に低くなっているが、30 年度より経験豊富な教員を相談員として配置し、指導にあたる予定である。また、全教員で現状を十分に理解しあう。

<p>内 容</p>	<p>教科指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育機器の利用 <p>昨年度までの A+B が 80%代から 100%になったのは、新校舎に移り、最新の機器を有効に使っている結果だといえる。学習の理解度も上がり、情報の学習・英語学習にも力を入れる。</p> <p>読書指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書推進 <p>パソコンやスマホによる読書離れ・活字離れが懸念されるが、信愛の児童は朝の 10 分間読書や図書館の利用で本好きな児童が多い。</p>
<p>児 童 支 援</p>	<p>生活指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導方針の一貫性と生活指導 <p>一貫という点においては小学校を卒業後も、内部中学・高校と進んでいくので縦の関連を大事にする。</p> <p>児童支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習 <p>月曜日のパワーアップタイム・土曜学習・火木金の放課後の補習など、個人に応じた学習の理解に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路 <p>今年度の中学への進学率は 50%で、去年は 60%であった。</p> <p>より一層、縦の関連の重視が必要である。昨年度より幼稚園の懇談時に小学校のブースをつくり、気軽に質疑応答させてもらった。また、小学校の懇談時には中高に呼びかけ、ブースを開設してもらった。</p> <p>今年は、大学進学で医薬進系の合格が目立った。小学校からの連携体制が結果を出し始める。</p>

＊広報活動

134 年のカトリック学校としての伝統教育を世間にもっと知らせていくために、CM や宣伝を効果的に行う。今後、イベント等の発信も進んで行っていく。

＊一貫教育

小中高の関連を蜜にしていく。時には、合同説明会の開催や学院参観日・行事などを同じ日に設定し、自由に保護者や地域の方たちに観ていただく機会をつくる。